多くの子ども達の命をワクチンによって救うことが出来ますが、予防接種を受けるかどうかは、多くの場合彼らがどこに住んでいるかによって決まってしまいます。先進国では当たり前のように予防接種でも、途上国では依然として百万もの子ども達が予防接種を受けられていません。しかし、この問題は解決することが可能なのです。

GAVI アライアンスとは
GAVI アライアンスは、途上国において予防接種の向上に取り組む革新的な官民パートナーシップです。
発展途上国において、予防接種を通じ、子ども達の生命を救い、人々の健康を守ります。

2011～2015年戦略

・子どもの死亡率減少に効果があるが、あまり利用されていないワクチン、あるいは未使用のワクチンの普及を加速する

・予防接種を拡大するために保健システム強化に貢献する

・資金拠出の予測可能性を高め、途上国との持続可能性を高める

・モニタリングとしてワクチン市場に影響を与える

ワクチン支援

・五価ワクチン、肺炎球菌、ロタウィルス、A型脳膜炎、黄熱病、麻疹（第二次接種）、日本脳炎、ルバラ、ヒトバピロマウィルス（HPV）、及び腸チフスに対するワクチンの支援をする

・脳膜炎及び黄熱病ワクチンの増産をすると

・マラリア、デング熱のモニタリングを実施する

過去10年間で500万人以上の命が救われました

B型肝炎
3,407,000人
インフルエンザA型（H1N1）
560,000人
百日咳
474,000人
麻疹
1,200,000人
肝熱病
140,000人
ポリオ
30,000人
肺炎球菌
8,000人
ロタウィルス
1,000人

所得の低い国々における子どもの死亡要因

・肺炎
18%
・下痢
18%
・その他
21%
・麻疹
9%

女性の健康と予防接種

女性と子どもの死亡率には密接な関係があります。
GAVIは、4,000万人の妊娠に対して、妊娠・新生児破傷風の予防接種を実施しています。また、女性の子宮頸がんを引き起こすヒトバピロマウィルスに対する新型ワクチンを供給しています。さらに効果的な予防接種と保健サービスを確保するため、保健システムの強化も行います。

日本政府へのお願い

2011年度に日本政府が初めてロンドン国連総会でGAVIへ9億9000万円（7.2億ドル）を拠出した。今後、日本政府には2011年から2015年までの5年間で250億円の拠出をお願いします。